

## 「安城小学校の史跡（紀徳碑）活用の取組」

1. 学校名	西之表市立安城小学校
2. 学年・人数	2年（2人）・3年（3人）・4年（3人）・5年（3人）・6年（4人）
3. 日時・場所	令和7年11月4日（火） 西之表市立安城小学校紀徳碑前
4. 活用に取り組んでいる史跡の名称・時代・特徴について	<p>(1) 名称 紀徳碑（きとくひ） （西之表市指定文化財 カシミア号乗組員救助に関する石碑） 明治23年（1890年）9月 建立</p> <p>(2) 由来 明治18年（1885年）9月 種子島の南東沖に難破したアメリカ商船カシミア号の乗組員が漂着し、安城と伊関の村人たちに救助され、手厚く介抱され、無事帰国。これに対してアメリカ政府は大変感謝し、安城、伊関両村に金メダルと計5,000ドル余りの現金を贈呈。両村は、これを教育資金として教育の振興に充てるとともに、アメリカ国民の行為を末永く心に留めるために、小学校敷地内に「紀徳碑」を建立した。</p>
5. 活用の取組において地域との連携や工夫した点等	<p>毎年2学期の愛校作業では、PTAや地域の有志者が、紀徳碑周りの環境整備や紀徳碑の清掃等を行っている。</p> <p>石碑祭りでは、例年、安城の歴史や紀徳碑に係る歴史に造詣が深い方を講師に招致して講話をいただき、学校、PTA、校区民が、安城のよさを振り返る機会となっている。</p>
6. 取組の様子（研究発表等）	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>6年生児童による 紀徳碑文朗読</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>講師によるカシミア号 遭難と救助に関する講話</p> </div> </div>
7. 感想・意見  (参加児童生徒・保護者・保存会・教員等)	<p>【児童】 自分たちの先輩方の思いやりの行動が、石碑になってすごいと思った。その思いやりの行動を受け継ぐ自分たちも、安城のほこりをもって、思いやりの心をもっと育てていきたいと思った。</p> <p>【保護者】 毎年、いろいろな講師の方々から、安城の歴史や、紀徳碑に関する歴史について学ぶことができ、大変興味深く聴いている。子供たちにとって安城が自慢できる故郷であることを実感できる行事だと感じている。</p> <p>【校区民】 校区の過疎化が進んではいるが、今後も「石碑祭り」やその他の行事を継続して欲しい。</p>